

戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（４）

—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）に関する研究—

三 沢 伸 生

7. 日本商品館開設の準備

前述のように、1928年9月29日、日土貿易協会は日土協会との間でおきた争奪戦に勝利して、商工省からコンスタンチノーブル日本商品館の委託経営権を獲得することに成功した。

10月、日土貿易協会は日本商品館開設準備に着手する。経営権争奪戦をめぐるのは関西の新聞を中心に報道が見られたものの、決着がついてからは開設準備について新聞報道がされることはなかった。そのため開設準備については公文書史料に依拠しながら整理していく。

コンスタンチノーブル日本商品館に関する公文書としては、外交史料館に所蔵される外務省記録に収められる、『本邦商品陳列所関係雑件／在外外部』にそのほかの在外日本商品館の記録とともに150頁ほどの記録が残されている（本稿巻末にその詳細を付す）。

開設準備を進めるにあたり、日土貿易協会は

10月16日付け稲畑勝太郎会長発、商工省商務局長の副島千八宛に書簡でもって借入建物物件の詳細を照会した。⁽¹⁾

しかしこの時点で、商工省商務局も外務省通商局も日本商品館の借入建物物件を決定していなかった。日土貿易協会の照会に呼応して、10月22日に外務省通商局は田中義一外務大臣発でもって、イスタンブルの小幡西吉大使に対して、イスタンブルの商業中心地において延坪数350坪程度の借入物件候補をいくつか選定し、その略図、賃貸料、賠償費などを知らせるよう打電した。⁽²⁾

しかし当の小幡はこれよりはやく同年5月2日に帰朝を願い出て5月29日付で外務省より9月以降の帰朝差支なしとの回訓を得たことから、10月11日にイスタンブルを出立していた（帰朝途上に数カ国を歴訪したので10月22日の段階で小幡はまだ日本に帰国していない）。⁽³⁾ 小幡の帰朝にともない、イスタンブル日本大使館の芦田均が臨時代理大使に昇格した。先の電報を受領した芦田は24日に田中義一外務大臣宛に日本商品館設立の注意事項として「陸揚費など諸経費」、「取引税」、「係員先発」の3点を喚起する返答を送った。⁽⁴⁾ 芦田は建物の心配よりも、貿易を行う上でトルコの諸制度を学び、商品館の規定を整備することを求め、また建物に関しても繁忙な大使館に依存することなく、先発隊を派遣して具体的準備を進めるよう進言している。しかし、その後の準備経緯を見る限り芦田の進言はすぐには聞き入れなかったようである。

12月11日付で大阪府知事の力石雄一郎から内務大臣・外務大臣・商工大臣ならびに各庁府県長官宛に送られた公文によって、この間の日土貿易協会の開設準備のあらましをうかがうことが出来る。⁽⁵⁾

日土貿易協会は政府より準備金として18万3千余円を下付され、1929年3月頃開館を目指して準備作業に当たった。この時点で安江房吉を館長、坂東恒吉を主事に推薦することが決められ、坂東は先発隊として12月下旬に館長代入りとしてイスタンブル入りすることと決せられた。

さらに日土貿易協会は商品館への商品出品勧誘に動いている。既に出品を希望している会社に対しては12月8日に大阪で懇談会を開き、また国内の地方各庁産業課商務課や商品陳列所に対して『君府日本商品館』・『土耳古事情』と題した小冊子を送付して勧誘に努めている。さらに12月中に中国・九州・中国地方9ヶ所で常務理事の安住伊三郎、北陸地方5ヶ所で商品館主事の坂東恒吉、関東地方4ヶ所で理事長の山田寅次郎が遊説予定であることを伝えている。これらの予定地の知事らから遊説の報告が内務大臣・外務大臣・商工大臣宛に報告されているが、その反応は必ずしも芳しいものではない。

一方イスタンブルの芦田は同じ12月に、日本商品館向きの借入建物候補の詳細を外務省に送っている。残念ながら同封されたはずの2通の見取り図、1通の地図、3枚の写真は現存していないが、文面に記載されている物件は、この後にコンスタンチノーブル日本商品館が開設されるガラタ橋の袂、カラキョイ地区の建物である。芦田はこれ以外に物件を見つけることが困難であることを申し添えているので、そのまま契約に至ったのであろう。

芦田の記した建物詳細によって、従来不明であった建物の具体的情報が判明する。建物は地下1階の倉庫を有する地上6階建、1階から3階まではアテネ銀行が借りていた部分である。そして1階部分は銀行の大理石カウンターが備え付けられており、撤去が困難であるが、2階と3階は普通事務所に適している構造であるが、陳列のためには各室の仕切りを取り払う必要があると記している。さらに陳列室は広い部屋になっていることも確認され、芦田の進言がそのままに実際の商品館の賃貸契約と改修に反映されていることがわかる（写真参照）。さらに芦田は銀行の金庫があった地階が倉庫に充分適していると記している。加えて1階は採光が不十分で昼間でも電灯をつけなくてはならないこと、契約後にペンキを塗ったり、仕切りを撤去したり、陳列棚を注文するなどの工程で最低

でも3ヶ月は要するであろうから、日土貿易協会の先発隊がなるべく早くイスタンブルに来るように注意をしている。さらには大使館として登記手続きに関しても注意を促している。

芦田の報告によれば、地下1階と1、2、3階の1年間の借入家賃は1,400イギリス・ポンドを申し渡されているが交渉の余地はあるだろうという見通しが付言されている。

こうして1928年に開設が決定されいながら準備に手惑い、様々な紆余曲折を経てようやく1929年9月1日に至って、コンスタンチノーブル日本商品館はようやくと正式に開館された。

（この項つづく）

※本稿に付せられる目録は、三沢伸生（監修）『コンスタンチノーブル日本商品館館報／イスタンブル日本商品館館報』（DVD版、Ver.1）東京：東洋大学アジア文化研究所、2008年に反映されています。

※本稿は、東洋大学学術推進センター・研究所プロジェクト研究助成金に基づく、研究課題「近代日本におけるトルコ（タタール）系イスラーム教徒に関する基礎的研究」【拠点：東洋大学アジア文化研究所、研究代表者：三沢伸生、平成20～22年度】の研究成果の一部である。

註

- (1) 外務省記録『本邦商品陳列所関係雑件／在外ノ部』第6巻2. 君府に所収（付を参照）
- (2) 同上、
- (3) 小幡西吉伝記刊行会（編）『小幡西吉』小幡西吉伝記刊行会、1957年、361頁。
- (4) 外務省記録『本邦商品陳列所関係雑件／在外ノ部』第6巻 2. 君府に所収
- (5) 同上

付：外務省記録における日本商品館関係史料

外交史料館所蔵

〔外務省記録E門2類7項0目

『本邦商品陳列所関係雑件／在外ノ部』第6
巻 2. 君府]

（国立公文書館アジア歴史資料センターにも
電子版が収録）の内容詳細

1927/07/18

君府ニ日本商品陳列所設置方ノ件

発信：小幡西吉（在土耳其匿名全権大使）

受信：齋藤良衛（外務省通商局長）

（E-0849）0032～0035（計8頁）

1928/07/02 商局第1557号

「コンスタンチノーブル」日本商品館設立ニ
關スル件

発信：副島千八（商工省商務局長）

受信：武富敏彦（外務省通商局長）

（E-0849）0036（1頁）

1928/08/04 通二普通第36号

君府日本商品館設立ニ關スル件

発信：田中〔義一〕（外務大臣）

受信：小幡西吉（在土大使）

（E-0849）0037（計1頁）

1928/08/24昭3 11404略 第45号

〔電報〕

発信：小幡西吉（在土大使）

受信：田中〔義一〕（外務大臣）

（E-0849）0038（1頁）

1928/09/20 公第201号

君府日本商品館設立ニ關スル件

発信：小幡西吉（特命全権大使）

受信：田中義一（外務大臣）

（E-0849）0039～0043（計9頁）

1928/10/18 商局第1557号

「コンスタンチノーブル」日本商品館ニ關ス
ル件

<+別紙「コンスタンチノーブル」日本商
品館建物借入ニ關シ依頼ノ件>

発信：副島千八（商工省商務局長）

受信：武富敏彦（外務省通商局長）

（E-0849）0044～0045（計3頁）

1928/10/16

「コンスタンチノーブル」日本商品館建物借
入ニ關シ依頼ノ件

発信：稲畑勝太郎（日土貿易協会会長）

受信：副島千八（商工省商務局長）

（E-0849）0044～0045（計2頁）

1928/10/22 平43号

君府商品館設立ニ關スル件

発信：田中義一（外務大臣）

受信：小幡西吉（特命全権大使）

（E-0849）0046（計2頁）

1928/10/22 公第222号

君府商品館設立ニ關スル件

発信：芦田均（在土臨時代理大使）

受信：田中義一（外務大臣）

（E-0849）0047～0049（計4頁）

1928/10/26 通二普通第667号

君府日本商品館設立ニ關スル件

発信：武富敏彦（外務省通商局長）

受信：副島千八（商工省商務局長）

（E-0849）0049（1頁）

1928/11/15 商局第1557号

コンスタンチノーブル日本商品館ニ關スル件

発信：副島千八（商工省商務局長）

受信：〔武富敏彦〕（外務省通商局長）

（E-0849）0050（計2頁）

1928/11/24 通二普通第731号

君府商品館設立ニ關スル件

発信：武富敏彦（外務省通商局長）

受信：副島千八（商工省商務局長）

(E-0849) 0052（1頁）

1928/11/26 通二普通第52号

君府商品館設立ニ關スル件

発信：田中〔義一〕（外務大臣）

受信：芦田均（在土臨時代理大使）

(E-0849) 0052（計2頁）

1928/12/11 外務第1179号

君府日本商品館開設ニ關スル件

発信：力石雄一郎（大阪府知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

中橋徳五郎（商工大臣）

各庁府県長官

(E-0849) 0054～0055（計3頁）

1928/12/20 通商局外高秘第1089号

君府日本商品館出品勧誘ニ關スル件

発信：小濱浄鑑（福井県知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

中橋徳五郎（商工大臣）

大阪、石川、富山、岐阜各府県知事

(E-0849) 0057～0058（計3頁）

1928/12/20 通商局三外親第28486号

君府日本商品館開催ニ關スル件

発信：伊東喜八郎（長崎県知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

中橋徳五郎（商工大臣）

指定庁府県長官

(E-0849) 0059（計2頁）

1928/12/20通二普通第783号

君府日本商品館設立ニ關スル件

発信：武富敏彦（外務省通商局長）

受信：副島千八（商工省商務局長）

(E-0849) 0060（1頁）

1928/12/24 通商局特外鮮秘第1609号

君府日本商品館開催ニ關スル件

発信：伊東喜八郎（長崎県知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

指定庁府県長官

(E-0849) 0061（計2頁）

1928/12/24 通商局公272号

商品陳列所向建物ノ件

発信：芦田均（在土臨時大使）

受信：田中義一（外務大臣）

(E-0849) 0062～0064（計4頁）

1928/12/24

1929/01/07通商局兵庫発秘第109号

君府日本商品館開催ニ關スル件

発信：長延連（兵庫県知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

指定庁府県長官

(E-0849) 0065（計2頁）

1929/01/17通商局特高發秘第109号

君府日本商館開催ニ關スル件

発信：長延連（広島県知事）

受信：望月圭介（内務大臣）

田中義一（外務大臣）

指定庁府県長官

(E-0849) 0066（計2頁）

1929/01/25通二普通第90号

君府日本商品館設立ニ關スル件

発信：武富敏彦（外務省通商局長）

戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（４）

受信：副島千八（商工省商務局長）

（E-0849） 0067（計２頁）

1930/06/05商本第521号

〔書簡〕

発信：稲畑勝太郎（日土貿易協会会長）

受信：武富敏彦（外務省通商局長）

（E-0849） 0068（計２頁）

1930/06/09 暗34号

君府日本商品館商品見本及陳列棚課税方ニ關
スル件

発信：幣原〔喜重郎〕（外務大臣）

受信：二瓶〔兵二〕（在君府臨時大使）

（E-0849） 0069（計２頁）

1930/06/18商本第539号

〔書簡〕

発信：稲畑勝太郎（日土貿易協会会長）

受信：武富敏彦（外務省通商局長）

（E-0849） 0070（１頁）

1930/06/12昭和 5 8468暗

君府日本商品館輸入品課税ニ關スル件

発信：二瓶〔兵二〕（在君府臨時大使）

受信：幣原〔喜重郎〕（外務大臣）

（E-0849） 0071（計２頁）

1932/03/18公80号

君府日本商品館館報訂正方ノ件

< + 別紙 君府日本商品館館報訂正方ノ件 >

発信：在希臘國日本帝國公使館

受信：外務省通商局

（E-0849） 0072（１頁）

1932/03/18諸公第27号

君府日本商品館館報訂正方ノ件

発信：在希臘國日本帝國公使館

受信：日土貿易協会

（E-0849） 0073（計２頁）

1932/04/18普第16号

君府日本商品館館報訂正方ノ件

発信：芳澤謙吉（外務大臣）

受信：川島〔信太郎〕（在希公使）

（E-0849） 0074（計２頁）

1932/04/15通二普通第513号

君府日本商品館館報訂正方ノ件

発信：通商局

受信：日土貿易協会

（E-0849） 0075～77（計６頁）

1932/05/03普第16号

君府日本商品館館報訂正方ノ件

< + 別紙 『コンスタンチノーブル日本商品
館館報』 23,25号 >

発信：芳澤謙吉（外務大臣）

受信：川島〔信太郎〕（在希公使）

（E-0849） 0078～0152（計75頁）

1933/07/01

〔書簡〕

発信：近東貿易協会

受信：外務省通商局

（E-0849） 0153～0154（計２頁）

『コンスタンチノーブル日本商品館館報／イスタンブル日本商品館館報』記事総索引(第76号～第90号まで／目録部分終了)

号	刊行年月日	著者	分類	表題	頁数
76	1936/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三五年度土耳其經濟界回顧	1-11
76	1936/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況(五月中)	11-16
76	1936/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	獨特新貿易協定と協定税率	16-23
76	1936/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	パレスタイン地方の暴動に關する詳報	23-26
76	1936/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	勃牙利國新輸出入取締規則	26-36
76	1936/7/25	無署名	取引・紹介	本邦よりの輸入希望商(イラク、シリア、ギリシア、ルーマニア)	37-38
76	1936/7/25	無署名	取引・紹介	本邦へ輸出希望商(シリア、ギリシア)	38
76	1936/7/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭國新關稅法實施	39-42
76	1936/7/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	イラク對日求償制裁相指令要綱	42
76	1936/7/25	在羅馬尼藤田特命全權公使	彙報	羅馬尼國棉花栽培狀況	42-43
76	1936/7/25	在羅馬尼藤田特命全權公使	彙報	羅馬尼の人絹工業	43-44
76	1936/7/25	在羅馬尼藤田特命全權公使	彙報	羅馬尼國新割當品目	44-45
76	1936/7/25	通商局	彙報	奧地利對外並對日貿易統計(一九三五年)	45-51
76	1936/7/25	在羅馬尼藤田特命全權公使	彙報	ユーゴースラヴィアの商品輸入統制	51-52
76	1936/7/25	在致領國小川臨時代理公使	彙報	チエコ對外及對日貿易年報(一九三五年)	52-60
76	1936/7/25	在リヴァプーアル野田領事	彙報	對巴爾幹英國綿製品貿易不振原因	60-62
77	1936/8/25	前マセドニア總督全權公使 日 希貿易促進協會々々長 ジヤン・ア チノヤニス John Athenogenis	特別記事	日希協會主催「希臘の夕」に奇する挨拶	1-4
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館々々長代 理 齋藤直路	講演	土耳其並近東諸方貿易近況	5-15

77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	最近の土耳古羊毛市況	16-19
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳古に於ける輸出業監督並保護法の發布	19-23
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳古銀行法一部改正	23-27
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳古に於ける獨逸美術工藝品展覽會	27-29
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三三年度シリヤ經濟界回顧	30-36
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	シリヤ地方一九三三年度外國貿易概況	36-52
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	シリヤ地方一九三三年度本邦品輸入状況	52-59
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	イラク國對日比率求償貿易施行細則	59-63
77	1936/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	イラク國羊毛事情	63-70
77	1936/8/25	在土耳古德川特命全權大使	彙報	土耳古の工業品價格統制公定法公布	71-72
77	1936/8/25	在阿富汗北田特命全權公使	彙報	アフガニ貨の法定爲替相場引上	72-73
77	1936/8/25	在希臘黑澤臨時代理公使	彙報	アルバニヤ對外貿易統計（一九三三年度）	73-74
77	1936/8/25	在羅馬尼藤田特命全權公使	彙報	ユーゴスラヴィア國爲替制限令	74-75
77	1936/8/25	無署名	彙報	チエツコ對外貿易統計（一九三三年度）	75-77
77	1936/8/25	無署名	彙報	波蘭（含ダンチツヒ）對外貿易統計（一九三三年度）	77-81
77	1936/8/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭輸入禁止令制定	81-82
78	1936/9/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳古經濟界と市況（六月中）	1-10
78	1936/9/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳古に於ける隣寸事情	11
78	1936/9/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三三年度希臘經濟界回顧	12-18
78	1936/9/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三三年度勃牙利經濟界回顧	19-24
78	1936/9/25	無署名	取引・紹介	本邦より輸入希望商（トルコ、シリア、パレス タイン）	25
78	1936/9/25	在阿富汗北田特命全權公使	彙報	自動車等輸入状況（阿富汗國）	26
78	1936/9/25	在阿富汗北田特命全權公使	彙報	阿富汗國紡績會社設立	26-27
78	1936/9/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	イラーク國農工銀行設立	27

78	1936/9/25	在アレキサンドリリア黒木領事	彙報	シリア輸入本邦品状況	27-28
78	1936/9/25	在アレキサンドリリア黒木領事	彙報	シリア銀行兌換券發行高（五月三十日）	28
78	1936/9/25	在ポーランドサイド大野領事館代理	彙報	パレスタイン貿易及經濟状況（一九三五年）	28-37
78	1936/9/25	在アレキサンドリリア黒木領事	彙報	パレスタイン輸入絹布加工短期再輸出免税	37-38
78	1936/9/25	在ベルグラード帝國名譽領事	彙報	ユ國に於ける要輸入許可書品目決定	38-39
78	1936/9/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭外國貿易年報（一九三五年）	39-42
79	1936/10/25	イスタンブル日本商品館	資料	土中古經濟界と市況（七月・八月中）	1-16
79	1936/10/25	イスタンブル日本商品館	資料	土中古に於ける本年度棉花收穫豫想	16-18
79	1936/10/25	在土耳古宮崎臨時代理大使	彙報	土中古磅不切下	19
79	1936/10/25	在土耳古宮崎臨時代理大使	彙報	土貨の外國爲替建値基準改正	19
79	1936/10/25	在土耳古日本大使館商務書記官	彙報	土中古の棉花收穫豫想	19-20
79	1936/10/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭國貿易年報（自一九三四年六月二十一日至一九三五年六月二十二日）	20-31
79	1936/10/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭のトラガカント護謄輸出獨占會社設立	31
79	1936/10/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭國税關に在庫中の輸入品に對し外貨購入許可發給	31-32
79	1936/10/25	在アレキサンドリリア黒木領事	彙報	パレスタインの通貨高（六月）	32-33
79	1936/10/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	柑橘類の輸出状況（パレスタイン）	33-35
79	1936/10/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘輸入制限適用外規則と對日關係	35
79	1936/10/25	在羅馬尼亞藤田特命全權公使	彙報	羅馬尼亞の編物工業	35-36
79	1936/10/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	羅馬尼亞國輸入棉花綿糸等關稅改正	36-37
79	1936/10/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	羅馬尼亞關稅割當稅改正	37-38
79	1936/10/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	羅馬尼亞に於ける私的求償制度に依る輸入品目追加	38-39
79	1936/10/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	致須國平價切下と外貨取引市場閉鎖	39
79	1936/10/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	致須國平價切下法公布	39
79	1936/10/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	致須國原料品輸入代金對外支拂許可制度	39-40

79	1936/10/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	致須國のセロファン輸入税賦課	41
79	1936/10/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭通貨政策不變聲明	41
79	1936/10/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭外債と外國送金停止	41-43
80	1936/11/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（九月中）	1-6
80	1936/11/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける人絹糸・布需給状況	7-13
80	1936/11/25	イスタンブル日本商品館	資料	新輸入綿織物「デヴエツチン」に就て	14-16
80	1936/11/25	イスタンブル日本商品館	資料	日シ貿易協約とシリヤ地方の輿論	16-22
80	1936/11/25	無署名	資料	飛行郵便が運行郵便になる	22
80	1936/11/25	無署名	取引・紹介	本邦より輸入希望商	23
80	1936/11/25	無署名	取引・紹介	本邦へ輸出希望商	23
80	1936/11/25	無署名	取引・紹介	不良輸入商に關する注意	23
80	1936/11/25	在土耳其宮崎臨時代理大使	彙報	日、土貿易暫行協定及實施取極廢棄	24
80	1936/11/25	無署名	彙報	伊蘭國對日輸出入額（自一九三四年六月二十一日至一九三五年六月二十二日）	24-27
80	1936/11/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭國の外國商品買付註文同意書有効期間	27-29
80	1936/11/25	在伊蘭岡本特命全權公使	彙報	伊蘭國外貨委員會の外貨購入許可告示	29-30
80	1936/11/25	通商局	彙報	詐稱伊蘭國政府通商代表	30
80	1936/11/25	在阿富肝北田特命全權公使	彙報	阿富肝斯坦國の國內工業監督獎勵法制定	30-34
80	1936/11/25	無署名	彙報	イラクのクーデタ成功	34-35
80	1936/11/25	在ポーストサイド大野領事代理	彙報	シリヤの棉花作柄（一九三六年度）	35
80	1936/11/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘の現行輸入制限令	35-36
80	1936/11/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘對日貿易の新措置	36-37
80	1936/11/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘對日貿易制限	37
80	1936/11/25	無署名	彙報	羅國入國旅行者に對する外國爲替法に關する規定	37-39
80	1936/11/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	莫大小生產狀況（致須國）	40-41

80	1936/11/25	在奥国谷（？）公使	奥国磁器輸入改正	42
81	1936/12/25	イスタンブル日本商品館	土古國一九三六年度上半期貿易状況	1-6
81	1936/12/25	イスタンブル日本商品館	近東地方に需要多き綿サージに就て	6-8
81	1936/12/25	イスタンブル日本商品館	土古に於ける國産生地綿布の規格決定	9-13
81	1936/12/25	イスタンブル日本商品館	シリヤ地方に於ける關稅法一部改正 本邦綿布輸出業者に對する注意	13-16
81	1936/12/25	在土古宮崎臨時代理大使	土古一般輸入制限令（一九三七年）	17
81	1936/12/25	無署名	イラン國輸入割當品目	17-20
81	1936/12/25	在伊蘭岡本特命全權公使	伊蘭國自動車及附屬品等輸入方法	20
81	1936/12/25	在アレキサンドリヤ黒木領事	シリアの金貨金塊再輸出並に中繼禁止	20-21
81	1936/12/25	無署名	パレスタイン對外貿易統計（一九三五年度）	21-24
81	1936/12/25	在希臘黑澤澤臨時代理公使	希臘對外貿易統計（一九三五年）	24-25
81	1936/12/25	在希臘渡邊臨時代理公使	希臘外國貿易統計（一九三六年前半期）	26-30
81	1936/12/25	無署名	希臘向輸出に對する注意	30-31
81	1936/12/25	在希臘黑澤澤臨時代理公使・在致須國小川臨時代理公使	鉛筆及繰出鉛筆需要状況（希臘及致須國）	31-34
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	土古經濟界と市況（一九三六年十月中）	1-8
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	一九三七年度中施行せらるべき土古國一般輸入制度	8-12
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	土古國新輸入制度一九三七年度の本邦品輸入に及ぼすべき影響	12-22
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	土古稅關に於ける公定換算率（一九三六年十二月分）	22-24
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	近東並にバルカン市場に於ける毛織物を摸したる綿織服地需給状況	24-30

82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	資料	希臘サロニカ第十一回國際見本市視察報告	30-53
82	1937/1/25	イスタンブル日本商品館	資料	サイプラス島輸入税法改正	53-62
82	1937/1/25	在伊蘭淺田代理公使	彙報	伊蘭國貿易關係法律改正	63
82	1937/1/25	在リヴァプール野田領事	彙報	伊蘭綿製品買入會社代表の來榮	63-64
82	1937/1/25	在アレキサンドリア黒木領事	彙報	シリア關稅中從量稅引上	65
82	1937/1/25	通商局	彙報	パレスタイン關稅一部改正	65
82	1937/1/25	在ポートサイド大野領事代理	彙報	パレスタイン建築界狀況（上半年）	65-66
82	1937/1/25	在羅馬尼鈴木臨時代理公使	彙報	羅國大豆栽培會社設立閣令有効期間延長	66
83	1937/2/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（一九三六年十一月月中）	1-8
83	1937/2/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける綿糸輸入稅引下げ	8-12
83	1937/2/25	在獨帝國大使館商務書記官	取引・紹介	セルロイド玩具、化粧用品、刷子並齒類輸入商（奧地利）	13
83	1937/2/25	在阿富肝北田特命全權公使	彙報	阿富肝國のガット材料輸出獨占會社成立	14
83	1937/2/25	在アレキサンドリア黒木領事	彙報	イラーク國產品の本邦買付率引上説	14
83	1937/2/25	在アレキサンドリア黒木領事	彙報	イラーク國ソフト帽需要増加	14
83	1937/2/25	在リヴァプール野田領事	彙報	イラーク國市場日本商品の地位	14-16
83	1937/2/25	在ペーブルート小長谷領事	彙報	シリア獨逸間通商及支拂協定調印	16
83	1937/2/25	在ポートサイド大野領事代理	彙報	パレスタインのポツターシュ工業	16-18
83	1937/2/25	在ポートサイド大野領事代理	彙報	纖維工業品輸入狀況（パレスタイン）「一九三六年上半期」	18
83	1937/2/25	在羅馬尼鈴木臨時代理公使	彙報	ユーゴスラヴィア國一九三六年通商交渉	19-20

83	1937/2/25	在獨逸長井大使館商務書記官	彙報	塙國の輸入餉雜詰状況と本邦製品	21-23
84	1937/3/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける貿易統制	1-23
84	1937/3/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける「タカス」に就て	24-35
84	1937/3/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける國別貿易協定	35-43
84	1937/3/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（一九三六年十二月中）	43-50
84	1937/3/25	イスタンブル日本商品館	資料	サイプラス島一九三七年度綿布輸入割當量	50-51
84	1937/3/25	在阿富肝斯坦北田特命全權公使	彙報	果實類輸出状況（阿富肝斯坦）	52-54
84	1937/3/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	パレスタインの柑橘類包装用紙輸入希望	54
84	1937/3/25	在致須國泉臨時代理公使	彙報	致須國自由輸入品目	54-55
84	1937/3/25	通商局	彙報	致須國及ユーゴスラヴィア間通商條約追加協定締結	55-57
85	1937/4/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（一九三七年一月中）	1-8
85	1937/4/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其に於ける護謄靴製産並輸入状況	8-11
85	1937/4/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三六年度勃牙利國本邦品輸入状況	11-15
85	1937/4/25	在英國松山商務參事官	彙報	イラーク國輸入日本及英國品状況	16-17
85	1937/4/25	通商局	彙報	イラーク國税關の敷地代並倉庫保管期間告示	17-18
85	1937/4/25	在ペイルート小長谷領事	彙報	シリア關稅一部改正	18
85	1937/4/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	シリア貿易状況（一九三六年上半期）	18-19
85	1937/4/25	在獨逸長井商務書記官	彙報	獨逸とシリア及レバノン間通商並支拂取極暫定的適用	19-21
85	1937/4/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	パレスタイン工業趨勢と同國工業協會の輸出振興諸決議	21-23
85	1937/4/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	パレスタイン貿易均衡調節と私的協定締結	23-24
85	1937/4/25	通商局	彙報	パレスタインとイラーク間特別關稅協定妥結	24
85	1937/4/25	在ポーランドサイド大野領事代理	彙報	柑橘類輸出生況（パレスタイン）	24-25
85	1937/4/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘對主要海運國出入船舶貨物載貨割合及海運關係收支	25-26
85	1937/4/25	在致須國小川臨時代理公使	彙報	最近致須國貿易政策の變更	26-27

85	1937/4/25	在致須國泉臨時代理公使	彙報	エムプロイダリー・レース工業状況（致須國）	28
85	1937/4/25	在佛蘭西三谷臨時代理大使	彙報	佛國と致須國間通商取極	28-29
85	1937/4/25	在伊太利杉村特命全權大使	彙報	伊太利とユーズラヴィア間通商協定調印	29
86	1937/5/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（二月中）	1-8
86	1937/5/25	無署名	取引・紹介	布帛類及織物、玩具等輸入商（パレスタイン）	9
86	1937/5/25	在ベールート小長谷領事	彙報	シリア關稅一部改正	10
86	1937/5/25	在埃及天城臨時代理公使	彙報	パレスタインの衛生器具免稅	10
86	1937/5/25	在ポーランド大野領事代理	彙報	パレスタイン貿易年報（一九三六年）	10-13
86	1937/5/25	在アレキサンドリア黒木領事	彙報	パレスタインとイラク間通商取極	13-14
86	1937/5/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘中小工業及其輸品の販賣輸出方法	14
86	1937/5/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	ピレウス港の港勢（一九三五年）	14-17
86	1937/5/25	通商局	彙報	アルバニア國輸入制限令實施の有無	17-18
86	1937/5/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	羅馬尼亞の大豆栽培と利權會社	18-19
86	1937/5/25	在致須國泉臨時代理公使	彙報	致須國の爲替管理政策緩和	19
86	1937/5/25	在致須國泉臨時代理公使	彙報	致須國輸入要原產地證明品目	19-21
86	1937/5/25	在ケープタウン太田領事	彙報	南阿と致須國間暫定通商協定成立	21-22
87	1937/6/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（三月中）	1-5
87	1937/6/25	在ポーランド帝國領事館	取引・紹介	文房具及紙、腕輪等輸入商（パレスタイン）	6-7
87	1937/6/25	在土耳其古富特命全權大使	彙報	カラビュツク製鐵所竣功（土耳其）	8-9
87	1937/6/25	在土耳其宮崎臨時代理大使	彙報	土耳其中小工業其製品販賣輸出獎勵助成方法	9-13
87	1937/6/25	在伊蘭淺田臨時代理公使	彙報	伊蘭國の最近物價	13-15
87	1937/6/25	通商局	彙報	イラク國稅關告示	15-16
87	1937/6/25	在ポーランド大野領事代理	彙報	ポツターシユ本邦向輸出状況（パレスタイン）	16
87	1937/6/25	在羅馬尼亞栗原公使	彙報	羅馬尼亞製造業者自用綿及毛絲輸入自由	16

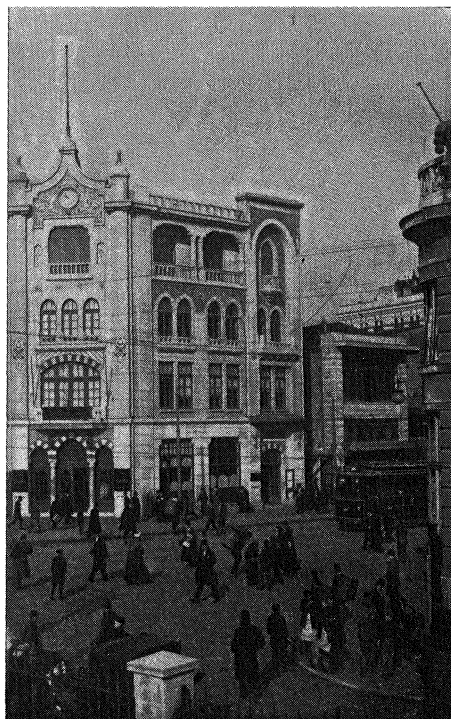
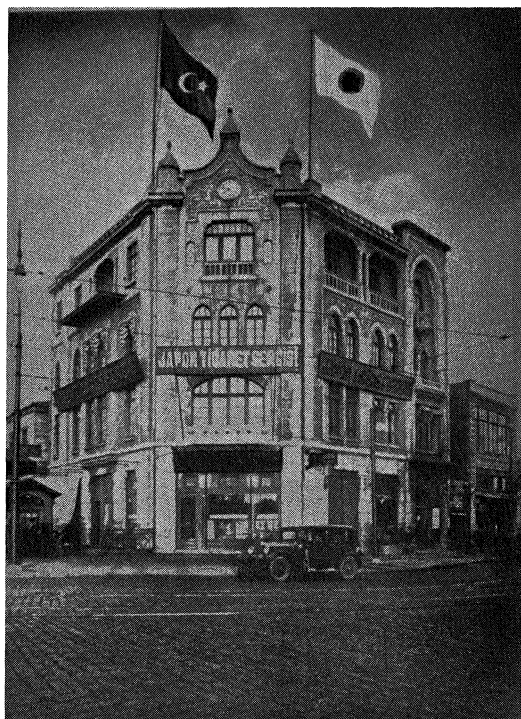
87	1937/6/25	通商局	彙報	境地利對外對日貿易年報（一九三六年）	17-25
87	1937/6/25	在致須國泉代理公使	彙報	致須國對外對日貿易年報（一九三六年）	25-31
87	1937/6/25	在佛蘭西内山臨時代理大使	彙報	佛國と致須國間通商條約修正	31-32
87	1937/6/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭經濟界の外國資本	32
87	1937/6/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭の物價引下	32-34
88	1937/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三六年度土耳其經濟界回顧	1-15
88	1937/7/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（四月中）	16-20
88	1937/7/25	在孟買石川領事	彙報	阿富肝向外國綿布數量記載方	21
88	1937/7/25	在ベールート大原領事館事務代理	彙報	シリアリパン國鐵製品關稅中改正	21-22
88	1937/7/25	在ボートサイド大野領事代理	彙報	柑橘類輸出状況（パレスタイン）（一九三六-三七年）	22-23
88	1937/7/25	在ボートサイド大野領事代理	彙報	パレスタイン變質酒精輸入禁止	23
88	1937/7/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘外國貿易統計（一九三六年）	23-26
88	1937/7/25	在希臘渡邊臨時代理公使	彙報	希臘國經濟狀況（一九三六年）	27-29
88	1937/7/25	在佛蘭西内山臨時代理大使	彙報	佛國、波蘭間新通商協定調印	29-30
88	1937/7/25	通信局	彙報	波蘭外國貿易年報（一九六三年度）	30-33
88	1937/7/25	在波蘭伊藤特命全權公使	彙報	波蘭の物價引下政策	33-35
89	1937/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三六年度土耳其勃牙利經濟界回顧	1-8
89	1937/8/25	イスタンブル日本商品館	資料	土耳其經濟界と市況（五月中）	8-13
89	1937/8/25	在土耳其武富特命全權大使	彙報	土耳其國輸入法令改正	14
89	1937/8/25	在土耳其武富特命全權大使	彙報	土耳其國輸入法令改正追加	14
89	1937/8/25	在甲谷陀米澤總領事	彙報	阿富肝向再輸出品純重量記載方實施猶豫期間適用範圍	15
89	1937/8/25	在ベールート小長谷領事	彙報	シリア小麦輸出解禁	15
89	1937/8/25	在ボートサイド大野領事代理	彙報	パレスタイン海陸運輸其他交通狀況（一九三六年度）	15-16
89	1937/8/25	在ボートサイド大野領事代理	彙報	柑橘類輸出状況（パレスタイン）『一九三六-三七年』	16-18

89	1937/8/25	在希帝國臨時代理公使渡邊信雄	彙報	希臘對日貿易統計（一九三六年）	18-20
89	1937/8/25	通商局	彙報	ナクソス島金剛砂の生産高及其販賣狀態（希臘）	20-33
89	1937/8/25	在羅馬尼亞栗原特命全權公使	彙報	羅馬尼亞毛絲及綿絲等自由輸入商工省令公布	33-34
89	1937/8/25	在羅馬尼亞栗原特命全權公使	彙報	羅馬尼亞の毛絲及綿絲等自由輸入令	34-35
89	1937/8/25	情報部	彙報	羅馬尼亞國財政經濟事情	35-37
89	1937/8/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	羅馬尼亞中小工業助成方法	38-39
89	1937/8/25	在羅馬尼亞鈴木臨時代理公使	彙報	豆類統計（羅馬尼亞）	39-41
89	1937/8/25	在羅馬尼亞栗原特命全權公使	彙報	菜種事情（羅馬尼亞）	41-42
89	1937/8/25	在佛蘭西內山臨時代理大使	彙報	佛國と波蘭間新通商航海條約調印	42-43
89	1937/8/25	在佛蘭西內山臨時代理大使	彙報	佛國と波蘭間新支拂協定調印	44
90	1937/9/25	イスタンブル日本商品館	資料	一九三六年度希臘經濟界回顧	1-11
90	1937/9/25	通商局	彙報	イラーク國輸入本邦品制限關稅規則	12
90	1937/9/25	通商局	彙報	希臘國現行外國爲替管理法	13-18
90	1937/9/25	在埃及橫山特命全權公使	彙報	アルバニア國本邦品輸入禁止	18
90	1937/9/25	在伊太利堀田特命全權大使	彙報	アルバニア國輸入制限令實施規定	18-19
90	1937/9/25	在伊太利堀田特命全權大使	彙報	アルバニア國輸入制限令實施	19
90	1937/9/25	在亞國寺嶋臨時代理公使	彙報	致須國と亞國間通商條約調印	19-21
90	1937/9/25	在米齊藤特命全權大使	彙報	米國と致須國間互惠通商協定交渉	21
90	1937/9/25	在ケープタウン太田領事	彙報	波蘭と南阿聯邦間貿易調整	21-22

（目録部分は終了）（未完・この項続く）



〔出典：Namık Gölgüç ガラス版写真コレクション（複製を筆者個人蔵）〕



〔出典：（左）『コンスタンチノーブル日本商品館館報』（右）筆者個人蔵〕